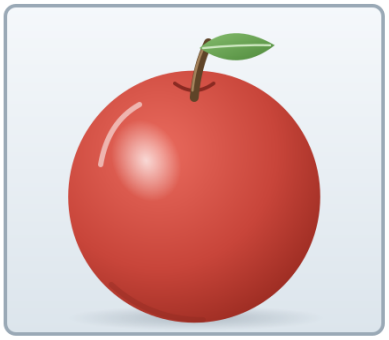
画像判定AIが写真を見分けるしくみ

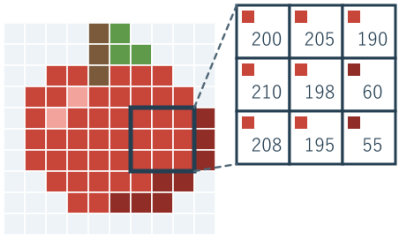
AIは、写真に写っているものを、どのようにして見分けるのだろう

1 写真を読みこむ



カメラで写した写真
（写真の例は、りんご）

2 画素に分けて数にする



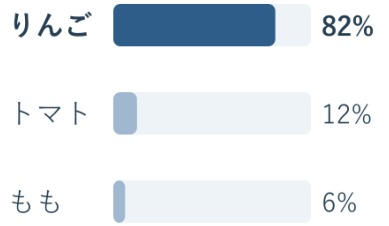
小さな点（画素）
1つ1つの点の色や明るさを数で表す。写真は、たくさんの数の並びになる

3 特徴を見つける

- 丸い形
- 赤い色
- 上に葉と軸

数の並びから、形や色などの特徴を見つける

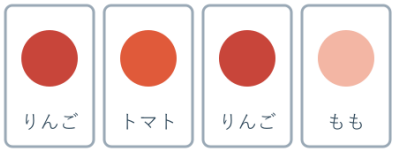
4 確からしさ付きで答える



答え：「りんご」

学んだきまりにあてはめて答える

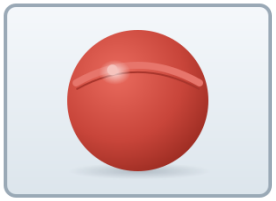
AIは、前もって学んでいる



名前の付いた、たくさんの写真を使って、特徴と名前の結び付きを学んでいる。

学んだ写真が少なかったり、かたよっていたりすると、まちがいがふえる。

にているものは、まちがえることがある



赤いボール

答え：「りんご」
（確からしさ 70%）

まちがい

形や色がにていると、別のものと答えることがある。人がたしかめる。

※ しくみを単純にした模式図。点の数・色の数・確からしさの値は、架空の例。